



庭

※一画、一画、直筆、藏鋒で書く

涼

梧

葉

梧

涼葉庭梧下る

菊は漸く花が咲き、梧桐はその一葉が落つるのである

(賀鼓の詩)

雁塔聖教序・唐時代、褚遂良の倣書で書いています。
書は行書の筆意を帯びた楷書。
点画の間は軽妙な細い線で、
ゆったりとしていて、粘り、抑揚がある。